



みやかわ

会津美里町立宮川小学校

令和3年度学校だよりNo.24

令和3年10月7日

会津美里町立宮川小学校長 星 潔

みやかわまつりに向けて

10月16日(土)は「みやかわまつり」が実施されます。現在、どの学年も16日の本番に向けて、一致団結して練習に取り組んでいます。コロナ禍で**1家庭2名まで**の参観制限はありますが、「チーム宮川」の晴れ舞台です。体調管理に留意され、ぜひ当日、足をお運びいただければと思います。お待ちしております。



< 6年生の練習の様子 >



< 5年生の練習の様子 >



< 1年生の練習の様子 >

2, 3, 4年生の写真がなくて申し訳ありませんでしたが、全学年が頑張っています！当日をどうぞお楽しみに！！

授業研究会

私たち教職員は、授業力向上と子ども達の学力向上のために、全教員が指導のための案を作成し、お互いの授業を見合い、研鑽を深める授業研究会を時々行っています。最近では体育科、道徳科、外国語活動で実施しました。以前も記述しましたが、何といたっても学校のど真ん中は「授業」です。私たちはこれからも、お互いの授業力を磨き、子ども達の笑顔あふれる姿をめざしていきます。「チーム宮川」教職員、授業づくりを頑張っています！



様々な動きを体験させています。特に低学年では大切です。



心を育てる道徳の授業に力を入れています。自己を見つめさせています。



英語で友達と会話しています。楽しみながら英語に親しませています。

就学時健康診断

10月5日(火)に「就学時健康診断」を実施し、来年度入学生と保護者の皆様にご来校いただきました。新1年生は、初めての小学校でしたが、落ち着いてしっかりと話を聞くことができました。来年度の入学が楽しみです。新入学児童保護者の皆様、大変ありがとうございました。



小澤悌一先生より「親は家庭のカウンセラー～就学、児童期の子どもへの親の関わり方～」という演題でご講演をいただきました。保護者の皆様は真剣に話を聞いたり、メモを取ったりしていました。小澤先生、どうもありがとうございました。

校長のひとりごと

就学時健康診断の記事に記述した通り、小澤先生よりご講演をいただきました。私も大変勉強になるとともに、自分の子育てについて、改めて反省させられました。いくつか先生の話で心に残ったことについて記述してみます。

家庭教育とは「最も早く始まり、最も遅くまで続く教育」で、無意識に営まれる教育です。無意識だから怖く、親の何気ない言動がいつの間にか子どもに大きく影響を与えているということです。家庭教育は「親をまねること」から始まり、親の姿が最も大切な教材であること。子どもの成長に最も強力な刺激を与えるのは、親のお手本と、親が当たり前としている価値観と勤労観であること。だからこそ普段の生活(無意識な生活)の中での親の姿こそが重要であること。親自身が常に明るく、積極的に、ひたすらに努力する姿を見せることが子どもの成長にとって重要なことだということです。自分の子育てを振り返ってみると、普段の生活の中で良い姿を見せることができていたかということそれは反省しかありません。長女が小学生時代は帰りが遅く、長男、二男が小学生時代は単身赴任の時もあり、まず普段の生活の中に父親の存在がなかったことが多かったような気がします。「親の姿がない」ことは、親をまねることもできません。子どもの成長にとって大きなマイナス面だったと思います。大反省です。良かったことは子ども達の前で明るくいたことです。これはプラスだったと思います。でもプラスはほんの少し。マイナス面ばかりです。現在、社会人と大学生の子ども達。一緒には住んでいないので、関わりは少なくなりますが、これから人生にとって大きな決断はあるはずで、その中で父親として大きな関わりをしていきたいと思っています。父親の存在意義を見せなくてはなりません。とはいえ保護者の皆様のようにお子さんが小学生時代は、たくさん関わり、明るく努力する親の姿を見せることがやはり大切です。私と違い、「チーム宮川」の保護者の皆様には、今を大切に、ぜひ良い関わり方をしていただきたいと思います。

ホームページもぜひご覧ください！

